

## 第11回 第7次NACCS合同作業部会 議事要旨

1. 日時：令和4年4月14日（木）10:00~11:30
2. 場所：オンライン開催（Microsoft Teams）
3. 出席者：別紙の通り
4. 議事の概要

### (1) 議題1 第10回合同作業部会の結果報告

- 議事資料1に基づき、事務局より説明を行った。
- 項番31 納付書情報等出力先の改善について、海上貨物と同様に航空貨物においても、納付書を代表通関業者で纏めて欲しいという要望を、日本貿易会から提出している。実現していただきたいという要望があったことを、記録として残していただきたい。（委員）
- ⇒ ご意見を記録として残させていただく。本件については、関係者のご意見を踏まえながら、引き続き検討したい。（事務局）

### (2) 議題2 航空・海上識別の選択の自動化

- 議事資料2に基づき、事務局より説明を行った。
- 自動識別について、利用者コード単位に選択することは可能か。（委員）
- ⇒ 今回の提案では含まれていない。（事務局）
- 弊社は自社システムを使用しているが、パッケージソフトを使用してIDA業務を行う機会に業務呼出しを行い、上段のメニューに海上のIDA業務がある為、誤って海上のIDA業務を選択してしまい、必須項目のみ入力を行い、業務完了してしまうケースがあった。輸入申告時は航空を選択していたので、エラーとなり気付けたということが実際にあった。この識別自動化が実施された場合、エラーのチェック機能が働かなくなるということに危惧しており、自動識別の利便性と制限を掛けるという選択が出来る様にしていきたい。（委員）
- ⇒ 対応可否を含め、検討させていただく。（事務局）
- 自由化申告対応として、UKY業務で利用者コードの紐づけの手続きを行った場合に関して、例えばAという利用者コードが航空でIDA業務を完了し、利用者コードBが航空を選択し申告した際には、利用者コードBで申告が完了する。この場合、識別自動化に伴い利用者コードAが誤って、海上の識別でIDA業務を完了した場合に、利用者コードBが仮に航空を選択

し、IDC業務を行った際にIDC業務の航空は無視され、利用者コードAが海上を選択した時のIDA業務の識別が適用されるというという認識で合っているか。（委員）

⇒ この改変はIDA業務が正しく入力されていることを前提にした構成となっており、利用者コードAが間違っていた場合に、利用者コードBが正しかったとしても利用者コードAを正とする。（事務局）

➤ エラーになるということか。（委員）

⇒ エラーにはならない。（事務局）

➤ 当ケースの場合、どちらで申告されるのか。（委員）

⇒ IDA業務を入力した利用者コードのシステム識別となる。（事務局）

➤ 利用者コードがAとBで、IDA業務の事項登録と申告時の利用者コードが違うケースであるが、UKY業務で申告可能者登録がされている場合、航空同士だと申告のIDC業務の利用者コードが適用されるが、IDA業務が海上でIDC業務が航空であると、利用者コードAとBのどちらが申告者となるのか。（委員）

⇒ 申告者の利用者コードBとなる。（事務局）

➤ 申告者の利用者コードBということは、航空を選択した場合が適用されるということか。IDA業務の場合、海上を選択すると申告番号の二桁目が海上用のコードになっていると思うが、IDC業務を航空で行った場合にはエラーにはならず、海上の方の申告番号ということか。（委員）

⇒ IDA業務の際に、本来、航空で行おうとしたものを、海上で行いエラーとならなかった場合には、海上のまま輸入申告がなされる。（事務局）

➤ 航空貨物に対して海上の輸入の事項登録に基づいて、申告がされるということか。（委員）

⇒ IDA業務でエラーとなった場合、識別誤りには気付くと思われるが、エラーとならなかった場合、IDC業務ではチェックは行われない。（事務局）

➤ 別途、確認をさせていただきたい。（委員）

⇒ 個別に調整させていただく。（事務局）

### (3) 議題3 H01「輸出申告一覧データ」のインボイス番号の出力形式の変更

○ 議事資料3に基づき、事務局より説明を行った。

### (4) 議題4 「当初輸入申告呼出し（修正申告）（DLI02）」業務における当初申告情報の呼出し可能権限の拡大

○ 議事資料4に基づき、事務局より説明を行った。

- 輸入者自身が輸入申告を行っていた場合はどの様になるのか。（委員）
- ⇒ 輸入者が自社通関した際の利用者コードが許可書に記載されているので、その利用者コードを入力頂く事となる。（事務局）

\*（会議後訂正）

詳細を確認した結果、会議時の回答は誤りでした。申し訳ございません。正しくは、輸入者自身が自社通関を行った場合、許可書には当初申告時の利用者コードが出力されないため、DLI02業務にて呼出しをご希望の際には、輸入者から自社通関された際の利用者コードを別途ご確認頂く必要があります。（事務局）

(5) 議題5 「当初輸入申告呼出し（修正申告）（DLI02）」業務等実施後の呼出し処理可能時間の拡大

- 議事資料5に基づき、事務局より説明を行った。

(6) 議題6 「申告添付訂正（MSY01）」等の通信文のみの修正可能化

- 議事資料6に基づき、事務局より説明を行った。
- 通信欄のみの修正可能化に付随して、通信欄でEnterキーを押下しても改行が行えない。MSX業務、HYS業務、MSB業務等も同様に不便なので、検討いただきたい。（委員）
- ⇒ 対応可否を含め、検討させていただく。（事務局）
- MSY業務で送信した時の通信欄のコメントは記録として残らず、NACCSの保存期間が終了したら消えてしまうという認識だが、この点については変更となるのか。（委員）
- ⇒ ご認識の通りである。（事務局）
- 添付書類と同等に残す必要があると言われている場合には、引き続き添付をしなければならないと考える。また、通信欄で送信していることで、MSB業務と同等の扱いであるという認識で合っているか。（委員）
- ⇒ ご認識の通りである。（事務局）

(7) 議題7 改装・仕分け後の「見本持出確認登録（MHO）」業務の改善

- 議事資料7に基づき、事務局より説明を行った。

(8) 議題8 「システム外搬入登録（輸出許可済）（BIE）」業務の入力項目への「許可年月日」の追加等

○ 議事資料8に基づき、事務局より説明を行った。

(9) 議題9 「積荷目録状況照会（IMI）」業務の改善

○ 議事資料9に基づき、事務局より説明を行った。

(10) 議題10 第2回ACL業務SWG結果報告

○ 議事資料10に基づき、事務局より説明を行った。

5. 連絡事項

- 今後のスケジュールは以下を予定している。
  - 2022年5月12日（木） 第12回合同作業部会
  - 2022年6月9日（木） 第13回合同作業部会
  - 2022年7月14日（木） 第14回合同作業部会
- 本日の議題について、ご質問・ご意見等があればアンケートフォーム、メール等にてお寄せいただきたい。（議題2 航空・海上識別の選択の自動化について、通関業の方からご意見、ご要望をいただきたいので、ご協力いただきたい。）
- 人事異動等に伴い、委員様の変更がある場合は、ご連絡をいただきたい。その後、委嘱の手続きを行わせていただく。

以上